

# 研究をビジュアル化しよう!

## サマーシリーズ

《一枚の絵は千の言葉に値する》

研究結果をビジュアル化することは、ますます重要になってきています。われわれの日常生活は画像やグラフ、統計データにあふれているだけでなく、優れたデザインの画像やイラストは、研究結果をより効果的に、そして説得力を持って伝えることができます。

ニューヨークと東京のドイツ 科学・イノベーション フォーラム (DWIH) は、サマープログラム「研究をビジュアル化しよう!」を開催します。このプログラムでは、日本や米国、ドイツの若手研究者が交流をしながら、定量的・定性的な研究をビジュアル化するために必要なスキルを身につけることができます。

### 第1回ワークショップーキックオフ

2021年7月24日 日本時間9:00

"Data Visualization for Aspiring Professionals"

### 第2回ワークショップーパワーアップ

2021年8月21日 日本時間9:00

"Telling Stories with Data"

### 講師・コーチ

Daniel Sauter ダニエル・ソーター

ニューヨークParsons School of Design



ワークショップの定員は30名です。参加者は、2回のワークショップを通じてビジュアル化された作品を制作します。また、コミュニケーションツールSlackを通じて、参加者同士でつながり、アイデアを交換し、共同作業を行うことができます。言語は英語で行われます。

今すぐ参加登録をして、友達を作り、自身の研究を表現するプロになりませんか?  
参加登録は[www.daad.de/surveys/625573](http://www.daad.de/surveys/625573)  
詳しくは[www.dwih-tokyo.org/visualizing-your-research-ja](http://www.dwih-tokyo.org/visualizing-your-research-ja)をご覧ください

